

平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月9日

上場会社名 株式会社リンクバル 上場取引所 東
 コード番号 6046 URL http://www.linkbal.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉弘 和正
 (役職名)取締役 (氏名)金田 好生 (TEL)03(6222)6827
 問合せ先責任者 経営管理本部 本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年9月期第1四半期の業績(平成27年10月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	481	13.0	39	△68.5	56	△55.7	32	△59.2
27年9月期第1四半期	426	—	126	—	128	—	79	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	9.98	—
27年9月期第1四半期	26.47	—

(注) 平成26年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第1四半期	1,183	894	75.6
27年9月期	1,225	862	70.3

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 894百万円 27年9月期 862百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	965	17.3	35	△82.6	52	△74.2	30	△75.2	9.48
通期	2,254	30.9	266	0.6	283	0.2	165	5.6	50.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期1Q	3,250,000株	27年9月期	3,250,000株
② 期末自己株式数	28年9月期1Q	—株	27年9月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期1Q	3,250,000株	27年9月期1Q	3,000,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善傾向が続くなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、中国を中心とした新興諸国経済の減速感が強まり、原油価格の大幅下落、地政学的リスクの高まりなどにより、内外経済は先行き不透明感が強まる状況下で推移しました。

このような状況の下、当社は、「街コンジャパン」サイト上に「ハロウィン」、「紅葉」、「クリスマス」、「年末カウントダウン」といったテーマを取り入れたイベントを多数掲載いたしました。中でもハロウィンイベントは、日本でも若者を中心に盛り上がりを見せており、年々規模も認知度も高まり、イベントとして恒例化してきております。また、この時期は例年クリスマスに向けてユーザーの動きが活発になることもあり、当社が主催するイベント、他社が主催するイベントとともに「街コンジャパン」サイトへのイベント掲載数が増加いたしました。参加条件を特定の年齢層に限定したイベント、同じ趣味嗜好に限定したイベント、その他季節感あふれるイベント等、ユーザーニーズにあった内容のイベントを掲載することにより、イベントへの参加者数は順調に増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高は481,518千円（前年同四半期比13.0%増）となりました。損益面では、事業拡大のための人員増加による人件費の増加や採用教育費の増加、売上拡大のための広告宣伝費の増加など販売費及び一般管理費が増加しました。しかし、当初予定していた人件費や採用教育費の一部が未消化となったことから、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が441,678千円（前年同四半期比47.4%増）となった結果、営業利益は39,840千円（前年同四半期比68.5%減）となりました。経常利益は、保険解約返戻金17,010千円を計上したこと等により56,967千円（前年同四半期比55.7%減）、四半期純利益は32,437千円（前年同四半期比59.2%減）となりました。

なお、当社はインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービスごとの取組みは以下のとおりであります。

(イベントECサイト運営サービス)

当第1四半期累計期間においては、「街コンジャパン」サイトへの訪問者数は順調に増加いたしました。当社が主催するイベントにおいては、季節感あふれるイベントに加え、人気が高まっているクラフトビールをテーマにしたイベントや、同じ趣味を持つ人たちのイベントとして好評であるアニメをテーマにしたイベントも開催いたしました。特に、クラフトビールをテーマにしたイベントは、ビールを味わうイベントである「ビアフェス」とビールも男女の出会いも楽しめるイベントである「ビアコン」の双方を開催し、参加者数が1日で1,200名を超えるなど大変盛況となりました。また、アニメ好きが集まる「アニ☆コン」も東京、大阪、名古屋、福岡、徳島で開催し、当四半期の参加者数合計が2,000名を超えるなど大変盛況となりました。当社以外の主催者が開催するイベントにおいては、新規のイベント主催者の開拓に注力いたしました。その結果、「街コンジャパン」サイトへの掲載企業数が増加いたしました。また、12月は「クリスマスパーティ」、「年末カウントダウンパーティ」の掲載数が大きく増加し、イベント参加者数の増加に寄与いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は475,425千円となりました。なお、売上の内訳は、当社が主催する街コンイベントによる売上高が339,722千円、他社が主催する街コンイベントによる売上高が124,956千円、当社が主催する街バルイベントによる売上高が10,550千円、他社が主催する街バルイベントによる売上高が195千円となりました。

(WEBサイト運営サービス)

「恋学」サイトでは、新たなニュースメディアとの提携が進み、12月のクリスマスシーズンにあわせユーザー流入数が好調に推移しました。また、サイト内の広告枠を増加させ販促活動を強化した結果、女性向け広告販売が好調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期累計期間におけるWEBサイト運営サービスの売上高は6,093千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は1,183,622千円となり、前事業年度末に比べ41,770千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が27,863千円、未収入金が14,199千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は289,144千円となり、前事業年度末に比べ74,207千円減少いたしました。これは主に、未払金の増加が8,856千円、賞与引当金の増加が13,918千円あったものの、前受金の減少が21,199千円、預り金の減少が12,643千円、未払法人税の減少が55,289千円、未払消費税等の減少が13,900千円あったことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は894,477千円となり、前事業年度末に比べ32,437千円増加いたしました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間において、営業利益、経常利益、四半期純利益が、平成27年11月10日の「平成27年9月期 決算短信」で公表いたしました平成28年9月期の第2四半期(累計)業績予想を上回っておりますが、これは、当第1四半期累計期間に予定していた人件費や採用教育費など販売費及び一般管理費の未消化分が翌四半期以降に発生する予定であります。

当第2四半期及び通期の業績予想につきましては、不確定要素もあるため現時点では、平成27年11月10日の「平成27年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	929,745	901,881
売掛金	10,013	7,129
未収入金	83,856	69,656
その他	18,716	18,808
貸倒引当金	△938	—
流動資産合計	1,041,393	997,476
固定資産		
有形固定資産	77,218	76,871
無形固定資産	10,459	10,680
投資その他の資産	96,320	98,592
固定資産合計	183,998	186,145
資産合計	1,225,392	1,183,622
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,511	12,604
未払金	77,806	86,662
未払法人税等	83,786	28,496
未払消費税等	28,802	14,902
前受金	36,612	15,412
預り金	42,959	30,316
賞与引当金	9,782	23,700
その他	50,381	50,314
流動負債合計	335,642	262,409
固定負債		
資産除去債務	22,193	22,238
その他	5,516	4,496
固定負債合計	27,709	26,734
負債合計	363,351	289,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	281,000	281,000
資本剰余金	276,000	276,000
利益剰余金	305,040	337,477
株主資本合計	862,040	894,477
純資産合計	862,040	894,477
負債純資産合計	1,225,392	1,183,622

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	426,163	481,518
売上原価	115,802	159,773
売上総利益	310,361	321,745
販売費及び一般管理費	183,926	281,904
営業利益	126,434	39,840
営業外収益		
受取利息	17	25
保険解約返戻金	2,190	17,010
その他	—	91
営業外収益合計	2,207	17,127
経常利益	128,642	56,967
税引前四半期純利益	128,642	56,967
法人税、住民税及び事業税	49,695	26,755
法人税等調整額	△470	△2,225
法人税等合計	49,225	24,530
四半期純利益	79,416	32,437

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。